

GUEST ATHLETE バスケットボール、ソフトボールの二刀流パラアスリート

篠田匡世選手 車いすバスケットボール



篠田匡世（東京都出身）は、高校卒業式の3日前にバイクによる交通事故で両脚切断。

その後車いすバスケを始め、日本代表＆ドイツブンデスリーガで活躍経験もあるパワーフォワード。

現在は車いすソフトボール日本代表として2022-23年に連覇MVP獲得、両競技を両立し普及活動にも注力する二刀流アスリートとして活躍。大学在学時には車いすで体育の教員免許も取得した。

PROFILE

篠田選手のプロフィール

今回、皆さんの学校に訪問する、パラアスリート篠田選手のプロフィールの一部をご紹介します。他にも聞いてみたいことがあつたら篠田選手に質問してみよう！



普段の活動は？

アスリートとして大半の時間をトレーニングに費やしています。その傍らトレーニングジムの経営、学校などの講演、撮影モデルもしています。



競技との出会いは？

事故で怪我をした時にリハビリの先生に紹介されたのが車椅子バスケでした。DVDで映像を見せてもらった瞬間にこの競技の虜になりました。



好きものは？

子供と遊ぶこと。まだ小さいので日に日にできることも増え成長を感じるのが楽しいです！

HOW ABOUT

車いすバスケットボールってどんなスポーツ？

俊敏な車いす操作と巧みなチームプレーが魅せる、熱く戦うパラスポーツ！

車いすバスケットボールは、スピード・技術・戦略が融合した迫力あるパラスポーツです。通常のバスケットボールと同様に5人対5人でプレーし、ドリブルやパス、シュートを駆使して得点を競います。選手たちは車いすを自在に操り、スピーディーな展開や緻密な連携プレーで観客を魅了します。また、障害の程度に応じた持ち点制ルールがあり、多様な選手が同じコートで活躍できるのも大きな特徴です。



INTERVIEW**今回の授業で一緒に考えて欲しいこと****篠田選手から考えてもらいたいメッセージを記載****— 篠田選手にとって障がいってどういうものだと思いますか？**

障害は“できないこと”ではなく、“できるように工夫するきっかけ”です。本人の身体や心の状態だけで決まるものではなく、社会や周囲の理解、環境によっても形をえるものだと思います。なので障害は個人の身体的特徴など目に見えるものではなく本人と社会の間に生まれてしまう溝のようなものだと思います。

— あなたは壁にぶつかった時にどう向き合いましたか？

そのぶつかってしまった壁についてとことん調べます。1番怖いことは知らない事だと思います。知らないから不安になる、知れば解決の糸口がきっと見つかるはずです。

お化け屋敷はどこでお化けが出るかわからないから怖い。どこで出てくるかわかればきっと怖く無いはずです。みんなの壁もきっと知れば不安もなくなり怖くなくなると思います。

— 今回の授業をきっかけにみんなに考えてもらいたいとこはありますか？

【できないこと】はダメなことなのか？

できない事も工夫をすればできるようになります。車椅子で階段が登れなければスロープを使えばいい。これも工夫の一つです。みんなが今できることに対してどんな工夫をしたら上手くいきそうか考えてみましょう。

また友達ができないことに対してあなたはどんな工夫ができるだろう？

皆さんもこの機会に、“あなたにとっての障がい（壁）”って何か考えてみよう！

きっと正解はこれからみんなが生活していく中で見つかるものかもしれませんね

NOTICE**篠田匡世選手の活動をもっと知ってみよう！****授業だけで篠田選手の事を知ることができなかつたみなさんはこちらもチェック！**

もっと選手のことを知りたい方は、活動の様子やインタビュー記事をぜひチェックしてみてください！センターポールの公式サイトでは、パラアスリートたちのプロフィールや競技への思い、イベント情報などを掲載中。さらに、選手本人のSNSでは、日々のトレーニングや試合の舞台裏など、リアルな姿が発信されています。応援の一步を踏み出そう！

**REQUEST****ぜひアンケートにご参加ください****パラスポーツで社会をもっとポジティブに！皆さんのご意見をお聞かせください。**

私たちセンターポールはパラアスリートと一緒にパラスポーツでみんながスポーツを楽しめる社会を目指しています！今回の授業に参加して「こんな制度があつたらいいな」「こんな話が印象に残った」など、あなたの意見をぜひ聞かせてください！

■回答方法 画像のQRコード「アンケートフォーム」から

■回答締切 2026年3月末まで

■対象 交流授業にご参加いただいた企業、教員、保護者の皆様

アンケートフォーム ➞

